

あたたかみとうるおいのある

木の学校

早わかり木の学校



文部科学省

目次

はじめに

発刊に寄せて

本書の使い方

第1章

木の活用の効果と意義

第1節 木の魅力

第2節 教育的効果の向上

第3節 地域の風土、文化との調和

第4節 環境への配慮

第2章

木の活用のQ&A〔共通編〕

第1節 計画方針の立て方

第2節 計画の進め方

第3節 木材の確保

第4節 維持管理

第5節 補助制度

木の活用のQ&A〔木造(混合構造)編〕

第1節 法規制

第2節 安全性

第3節 構造・架構計画

第4節 建設コスト

木の活用のQ&A〔内装木質化編〕

第1節 計画上の留意点

第2節 建設コスト

早わかり木の学校 木の学校にはこのような効果と意義があります！

木の学校は、学習環境の改善に効果があります。

子どもたちの学校施設に対する愛着を生むとともに、落ち着いて学習に向かう雰囲気を生み出し、学習意欲をより高める効果が期待できます。

また、教師の疲労感を軽減し、精神的に余裕を持って教育に臨むことについて好影響が期待できます。

さらに、建物自体が木の魅力や森林の大切さを伝える環境教育の教材となります。



秋田県能代市立浅内小学校

木の学校は、地域のコミュニティづくりに効果があります。

木の学校づくりにおいては、その意義や課題について共通理解を図ることが大切です。幅広い人々の参加を通して、学校に対する地域の関心を高め、地域の結びつきを強める機会とすることができます。

また、地域性に応じて、地域の活性化、木の文化の継承、自然・景観の保全などについて考える機会として生かすことも重要です。



高知県土佐市立波介小学校

木の学校は、地球環境問題に対して大きな意義があります。

木を使うことで活性化される森林は、二酸化炭素の吸収源となります。また、木材は炭素を固定します。よって、木を活用した長寿命の学校づくりは、地球温暖化に対する二酸化炭素の吸収、削減に効果があるといえます。

身近な学校施設が木でできていることは、地球環境問題や地域の保全に対する木や森林の役割を理解するのにより教材となります。



山林

木の学校は、地場産業の活性化にとって意義があります。

学校における地域材の活用は、人々の関心を一層高め、地域材をアピールする絶好の機会となります。地域材の利用促進は、森林を活性化させ、地域の産業振興に還元できる「森林循環」の要です。地域の活性化から地球環境保全などまで、幅広い観点から、積極的活用が望まれます。



製材品の出荷作業